

【募集】第86回体験セミナー

神や精霊の声を聴く

—— 土佐物部の民間信仰、いざなぎ流を訪ねる

同行講師：梅野 光興(高知県立歴史民俗資料館学芸員)

日時：2024年10月17日(木)～18日(金)

申込締切：2024年9月13日(金)

友の会会員(*)は8月2日(金)、それ以外の方は8月9日(金)より受付開始。

参加費：76,000円(行程中の移動費、食費、宿泊費【相部屋】、見学費を含む)

募集人数：18名(最少催行人数13名)(先着順)

*維持会員・正会員・家族会員が対象です。

上記会員以外の方は、維持会員か正会員もしくは体験会員にご登録ください。



いざなぎ流の祭礼、日月祭のための湯立て 撮影・梅野 光興

同行講師

梅野 光興 Umeno Mitsuoki

高知県立歴史民俗資料館学芸員。専門は民俗学。いざなぎ流について調査を続けてきた。所属館で企画した展覧会に「いざなぎ流の宇宙」(1997年)、「秘められた神と祭り——高知県の不思議を訪ねて」(2024年)など。みんぱくの特別展「驚異と怪異」に、地域独自のアレンジを加えた企画展「驚異と怪異——世界の幻獣と霊獣たち」(2022年、高知県立歴史民俗資料館)を担当。

旅程

集合：①JR高知駅(9時頃)
②高知龍馬空港(9時45分頃)

土佐の歴史・文化・暮らしを紹介する高知県立歴史民俗資料館へ。「民俗」展示には、いざなぎ流について紹介するコーナーがあります。レクチャー、展示見学をとおして、いざなぎ流の信仰世界、その知識が育まれた山間地域の暮らしについて理解を深めます。昼食後、物部へ移動。準備が進む日月祭の三階の棚(祭壇)を見学。その後、段々畑が美しい影仙頭へ。傾斜地の多い物部の山村集落を一望します。夕食は物部の食材を取り入れた弁当です。夕食後、日月祭を見学。(南国市泊)

物部町へ移動。午前中は、神社や伝承地などいざなぎ流ゆかりの場所を巡ります。その後「いざなぎ流のこころに出逢う」をコンセプトに、少人数制の宿泊施設を営むまきの宿で昼食(物部の食材を取り入れた弁当)。午後は、いざなぎ流の太夫を迎えて話しをうかがいます。太夫の指導のもと御幣切りを体験し、帰路につきます。

解散：①JR土佐山田駅(17時10分頃)
②高知龍馬空港(17時半頃)

※諸事情により行程を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ご参加にあたってのご案内

- ・日月祭では祭りの一部を見学します。18時～22時頃の見学を予定しており、宿への帰着は23時半頃になります(ご希望の方は19時頃に宿にお送りいたします)。
- ・日月祭は、地域社会に根差した信仰行事です。旅程も「祭りの決まり事」に則って設定しています。通常のセミナーとは異なる時間配分に加え、見やすい場所や休憩場所の確保はお約束できません。他見学者と譲り合ってご参加ください。

「いざなぎ流」は、高知県の北東部、徳島県との県境に位置する香美市物部町に伝わる民間信仰です。物部川の upstream に位置するこの地域は、焼畑農耕や林業を生業としてきた典型的な山村でした。山深いこの地では、妖怪に出会ったという話が多く残されています。そうした妖怪はまた、人に病や不幸をもたらす存在でもありと考えられています。山は本来、山の神らの領域であり、人びとは「見えない存在」を畏れながら生活を営んできたのです。いざなぎ流は、そんな物部に伝わる神がみをまつる方法で、生活の変化や急速な過疎化に伴い規模や姿を変えながらも、いまでも実践されています。

陰陽道や修験道、密教や神道の要素が入り混じってできたといわれるいざなぎ流は、「太夫」とよばれる地域の宗教者によって、その知識が管理・継承されてきました。太夫は人びとの求めに応じて、祭りや祈禱をおこないます。家の神や氏神の祭り、山川の鎮め、医者や少ない時代には病人祈禱も担っていました。祭礼では、神や精霊をあらわした多種多様な御幣をかざり、神がみの由来や物事の起源を語る祭文を唱えます。太夫は、古いやくじを用いて、神霊に意思を問いかねながら祭礼を進めます。また、「スソ(呪退)」とよばれる、呪いの概念が残ることも特徴のひとつです。太夫は、祭礼をはじめの際に、まずスソを集めて取り払います。スソは人の恨みや妬みから生じるものです。

第八六回体験セミナーでは、このいざなぎ流に着目し、山間の地で育まれてきた信仰世界と、神や精霊とともに生きる人びとの想像力に迫ります。当日は、月の出を拝む「日月祭」にも参加します。いざなぎ流を支える技術や知識の数々に、信仰の現場でふれることのできる貴重な機会です。

見えないものの存在を認め、対話する——。こうした営みは、人間にとってどのような意味をもつのでしょうか。みなさんのご参加をお待ちしています。

旅の参考に!



『いざなぎ流の宇宙
——神と人のものがたり』
(高知県立歴史民俗資料館)

『季刊民族学』91号
(千里文化財団)

ともに梅野先生ご執筆!
豊富な取材データとともに、
いざなぎ流の知識がまとめ
られています。

受付フォーム



<https://www.senri-f.or.jp/86taiken/>

みんぱく友の会ホームページ内にあります。

お問い合わせ・お申し込みについて

お申し込みは、上記受付フォームもしくはお電話をご利用ください。申込締切日を目安に、参加手続き書類・パンフレットをお送りします。正会員の方は同伴者1名まで同条件でお申し込みいただけます。詳しくは国立民族学博物館友の会までお問い合わせください。

研修企画

公益財団法人千里文化財団 「国立民族学博物館友の会」 係
TEL: 06-6877-8893 ※受付時間: 平日9:00~17:00

旅行企画 実施

有限会社香北観光トラベル
高知県知事登録旅行業 第3種-95号